

<b>会 議 録</b>	
会議名	平成 29 年度第 1 回在宅医療・介護連携推進協議会北部検討部会
日 時	平成 29 年 4 月 27 日 (木) 午後 1 時 30 分～ 3 時
会 場	健康福社会館 501 会議室
参加者	<p>【会 長】谷口 聡 (たにぐちファミリークリニック)</p> <p>【副会長】外館 伸也 (三郷藤光苑デイサービスセンター)</p> <p>【医師会事務局】安保 順子 (三郷市在宅医療・介護連携サポートセンター)</p> <p>【事務局】八巻 絢子</p> <p>【委 員】穴戸 六郎 (穴戸歯科医院)、石井 久美子 (新三郷訪問看護ステーション)、海老原 英之 (はまなす薬局)、瀧上 晃弘 (三郷ケアセンター PT)、前田 紗都美 (三愛会総合病院)、池上 昌子 (福祉のニッカ)、伊藤 洋子 (ケアサービス三郷)、矢口 賢治 (三郷ケアセンター)、星野 巳佐子 (地域包括支援センター早稲田)、加藤 泰子 (地域包括支援センターみずぬま)、矢口 明美 (地域包括支援センターひこなり北)</p>
書記	地域包括支援センターひこなり北 矢口 明美
検討課題	<p>1. 事例検討 医療と介護の連携に関する困難事例</p> <p>2. MCS の運用状況</p>
内容	<p>1. 事例検討 医療と介護の連携に関する困難事例</p> <p>(1) 矢口賢治 委員事例</p> <p>要介護 2、夫と二人での在宅生活は出来ていたが自宅内階段から転落事故。救急搬送先の急性期病院に入院となり入院中に要介護 5 の結果。急性期病院からかかりつけ病院へ転院となった。その後在宅生活困難のため施設入所となる。入所施設、ご家族、病院と連携を図りうまくいったケース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血管性パーキンソン病により嚥下困難があった</li> <li>・かかりつけ病院に転院後 PEG となる。VF 撮るも経口摂取不可にて嚥下訓練は未実施であった。</li> <li>・夫は入院中から妻の経口摂取が復活出来る様になることを希望されていた。</li> <li>・以前から在宅生活でも夫の介護協力はえられていた。</li> <li>・リハビリを受け、身体機能アップから、嚥下能力が見込まれるのではと</li> </ul>

言語聴覚士評価を受ける。

- ・特養では歯医者と歯科衛生士がはいることもある（加算あり）。ミキサー食の方の対応等もしている。誤嚥に注意している。
- ・老健は言語聴覚士の配置で食事時の介入と体制は取れている。
- ・ご家族様、本人様の意向を確認しながらコミュニケーションを取りつつアプローチをした。施設、管理栄養士、言語聴覚士で情報共有し、言語聴覚士から病院医師への働きかけにて状況を伝え多職種協働の連携が図られ切れ目ない支援が成功した例である。
- ・今後の課題はおやつから食事へと夫の期待も過剰になるであろう現状との差があった場合、説明と家族の理解である。

## （2）伊藤洋子 委員事例

認知症(中核症状)と思われ受診同行したヘルパーが病院の医師から「判断はこちらです」「診察室の同席は事前に言ってくれないと困る」「一人でこれないの？」等と数分怒られたという経緯があり、対応に困ったケースである。

- ・以前の会議で、ベテランのケアマネであっても主治医を前にするという気が引けてしまうこともあるとの意見もあった中、知人やヘルパーが受診同行し、嫌な思いをしている現状が起きている。
- ・会議に参加されている医師からは、一人で来るより付き添いがあることは良いと思うとの意見も出た。
- ・病院によっては医師が変わる事もある、医師によっても対応の違いはあると思われる。
- ・同じ医師に長年通っているのも患者自身は医師と信頼関係が構築されていたと、患者側だけが一方的に思っていたケースもある。
- ・受診の付き添いについては医師側から見ても、家族かケアマネかヘルパーかも分からない。名札の有無はどうかとの意見が出た。
- ・同行して受診内容をどこまで聞いていいものか。
- ・認知症の方は自身の症状を医師に明確に伝えられない。
- ・三郷市内でも北のエリア、特に団地は独居高齢者が多く家族同行が出来なく困っているケースが多くある。
- ・市の医師会で「同行書」等決まりものを作成するか？全体部会で検討しては？
- ・医師会からも、外来の方に話しやすい雰囲気をつくっていけるよう話しをしてみる。

・ケアマネが受診同行又はヘルパーに依頼するのも「認知症」の診断がポイントとされることがある。患者一人では、本人は何でも一人で出来るスタンスでいるから。

・要支援、要介護の判定結果で不明瞭に感じることもある。

・現状、受診の際、認知症であるという判定の有無の需要は増加している。どこの病院の科で診てくれるわけではない。やはり、もの忘れ外来の選択が良い。・だが三郷市内のどこの医療機関で認知症の判定を行っているのか周知できていない。

・三郷市 ふくし総合支援課から発行の“三郷市あんしんガイド”に記載がある。

・みさと協立病院、ふれあいクリニック早稲田、たにぐちファミリークリニック、健和団地診療所、健和クリニック、他等

・三郷市在宅医療・介護連携サポートセンターでも問い合わせにて案内して下さる。

・訪問看護の診察同行の話しも聞いたことがあるが、出来るのか。

・病院、MSWから、受診はご家族の同行を伝えている。

・担当ケアマネが医師にKPをお知らせしておく方法も。

・支援困難、KP不在者の対応等について、病院の倫理委員会で提案してみる。

・居宅管理、薬剤指導、訪問薬剤指導等の指示書は必須。

・ケアマネは、中立に家族の意向に沿い服薬などのお願いをするも心意が伝わらず。

### (3) 谷口 聡 会長事例

<かかりつけ医師以外の医療機関による訪問診療について>

・医療連携についての問題点であがっていた件について、病院内での伝達のあり方、現場で個々把握は難しい。どこの病院に入院されても基本は元のかかりつけ医に戻すことを前提にプランできれば理想的。かかりつけ医にも退院カンファの声かけをし、参加できなくてもFAX等でかかりつけ医の意見を求めてほしい。そうすれば、少なくともかかりつけ医が退院情報を知らないという状況は避けられる。

退院カンファを必ず開催し情報の共有が大事である。

## 2. MCS 運用状況

3/31 現在 103 件の登録 本日分まで含むと 109 件となっている。

	<p>登録内訳は</p> <table border="0"> <tr> <td>医師</td> <td>21件</td> <td>歯科関係</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>薬局関係者</td> <td>30件</td> <td>訪問看護</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>地域包括関係</td> <td>16件</td> <td>介護関係</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>医療関係</td> <td>11件</td> <td>接骨師</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>三郷市</td> <td>1件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(事業所登録に切り替えるところが増えてきたので件数としました)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日、新しい機能が追加になりましたのでご覧になって下さい。</li> <li>・最前線に対応されている介護事業所(ヘルパー)の登録もお願いします。必要であれば、いつでも説明致します。</li> </ul> <p>(問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MCSメール作成中、2000文字以上入力した場合、もしくは30分以上時間が掛った場合すべて消えてしまう。</li> </ul> <p>(対応)ワード等で作成し、コピペすると時間短縮になります。</p>	医師	21件	歯科関係	4件	薬局関係者	30件	訪問看護	8件	地域包括関係	16件	介護関係	11件	医療関係	11件	接骨師	1件	三郷市	1件		
医師	21件	歯科関係	4件																		
薬局関係者	30件	訪問看護	8件																		
地域包括関係	16件	介護関係	11件																		
医療関係	11件	接骨師	1件																		
三郷市	1件																				
<p>結論</p>	<p>1. 事例検討</p> <p>医療機関受診の際、付き添いが介護事業所(ヘルパー)等の名札の有無をどうするか。</p> <p>受診時にはあらかじめ“同行書”又は“同行許可証”など作成して受付に提出する等の決まりごとにするか、受診同行にはそれなりの理由がある事を医療機関にもご理解いただきたい。全体部会で検討し、医師会としても前向きに検討したい。</p> <p>2. MCSの運用状況</p> <p>徐々に増えつつあるが更に活用して欲しい。</p> <p>介護の最前線に対応されている介護事業所(ヘルパー)等の登録をお願いしたい。</p>																				
<p>次回検討課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、医療と介護の連携に関する困難事例について検討。</li> <li>・MCSの運用について</li> </ul>																				
<p>次回開催日時 (予定)</p>	<p>未定</p>																				